

# 川崎史上、最大級のビッグプロジェクトの実現に向けて！

## ～ 扇島の土地利用の検討状況についてお知らせします ～

川崎市では、扇島に新たに生まれる200ヘクタールを超える広大な土地を「脱炭素社会」や「イノベーション創出」を実現するフィールドとすることなどを目指して、100年に1度の大規模な土地利用転換の取組を進めています。

今般、この扇島の壮大なプロジェクトの大きな一歩となる、土地利用の方向性などの検討状況（中間報告）について取りまとめを行いましたので、広く皆様にお知らせします。

### 1 検討の概要

JFE スチール株式会社が扇島地区の高炉等設備を令和5年9月に休止することにより、川崎臨海部に200ヘクタール超の土地が新たに生まれます。これを川崎市が世界に向けてさらに飛躍するための千載一遇のチャンスと捉え、川崎臨海部の持続的発展につなげ市民の生活を支えるとともに、日本経済の発展を牽引すべく、扇島の大規模土地利用転換の取組を進めています。

### 2 これまでの検討状況<sup>(※)</sup>（詳細は別紙参照）

#### ●扇島の果たすべき役割について

川崎のカーボンニュートラルに取り組む基盤をはじめ、陸海空の結節点となり得る地理的優位性を活かし、**平時は「地球温暖化の進行」、「産業構造の転換」等の課題を解決するフィールドに、災害時は「首都圏を守る要」と**なることなどについて検討を進めています。

#### ●土地利用の方向性について

「**カーボンニュートラルを先導**」、「**首都圏の強靱化を実現**」、「**新たな価値や革新的技術を創造**」、「**未来を体験できるフィールドの創出**」の方向性及びそれらの方向性を踏まえた結果として「**常に進化するスーパーシティを形成**」することの実現可能性を検討します。

(※)検討にあたっては、学識経験者からなる「**扇島地区土地利用検討会議**」を開催し、国の動向や世界情勢を踏まえるとともに、川崎の次の100年を見据えた土地利用のあり方について意見を聴取しながら土地利用転換の取組を進めています。



### 3 今後の予定

川崎市とJFEグループは、**令和12年度までの一部土地の供用開始を目指して**、相互に協力しながら土地利用転換の取組を進めています。

今年度は、土地利用検討会議で学識経験者から意見を聴取しながら、国や民間企業などへのヒアリングも実施し、**今年度中の「扇島地区土地利用方針」策定に向けて**取り組んでまいります。

◇ 記事の掲載等にあたって、本市が所有する写真が必要な場合は、下記の間合せ先まで御連絡ください。

#### 【間合せ先】

川崎市 臨海部国際戦略本部 戦略拠点推進室  
担当 坂本  
電話 044-200-0253